

## 「おくのほそ道」定期テスト対策練習問題②

年	組	番	名前
---	---	---	----

次の古文についてあとの問いに答えなさい。

三代の栄耀一睡のうちにして、大門の跡は一里こなたにあり。秀衡が跡は田野になりて、金鷄山のみ形を残す。①まづ、高館に登れば、北上川南部より流るる大河なり。

衣川は、和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河に落ち入る。泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、(ア)夷を防ぐと見えたり。さても義臣すぐつてこの城に籠もり、功名一時の草むらとなる。「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と笠打ち敷きて、時のうつるまで涙を落としはべりぬ。

【1】夏草や(イ)兵どもが夢の跡

【2】卯の花に兼房見ゆる(ウ)白毛かな ( A )

かねて耳驚かしたる二堂開帳す。経堂は三将の像を残し、光堂は三代の(エ)棺を納め、三尊の仏を安置す。七宝散り失せて、玉の扉風に破れ、(オ)金の柱霜雪に朽ちて、既に(カ)顔廃空虚の草むらとなるべきを、四面新たに囲みて、(キ)藁を覆ひて風雨を凌ぎ、しばらく千歳の(ク)記念とはなれり。

【3】(ケ)五月雨の降り残してや光堂

問1 (A) に当てはまる人物の名前を漢字で答えなさい。



問2 次の古語の意味を答えなさい。

【ア】 さても

【イ】 すぐつて

【ア】

【イ】

問3 「一睡のうちにして」の意味として正しいものを次の中から選び○で囲みましょう。

ア：一晩寝ているうちに

イ：ごくわずかの間に

ウ：眠るように簡単なことに

エ：はかなく消え果て

問4 「大門の跡は一里こなたにあり」がこの古文で持つ意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

ア：平泉館があった所は遠く離れている

イ：平泉館の大門はすぐ目の前にある

ウ：平泉館の跡はこじんまりとしている

エ：平泉館は規模は広大だった

問5 「功名一時の草むらとなる」がこの古文で持つ意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

ア：功名も結局は草むらと変わらず、はかないものである

イ：功名も一時は草むらのように、そこら中にありふれたものである

ウ：草がおい茂るように、一時は功名を立てたものだ

エ：一時は功名を立てたものの、今はただの草むらである



問6 「かねて耳驚かしたる」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みましょう。

ア：昔、話を聞いても信じることができなかった

イ：昔から人々の間で有名だった

ウ：昔から話を聞いて驚嘆していた

エ：見ても聞いても驚くばかりである

問7 「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」は、誰の詩を思い起こしたものか。その詩の作者の名前を漢字で答えなさい。

問8 「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と同じ意味をもつ言葉を古文の中から11字で抜き出して答えなさい。

問9 「義臣」とあるが、誰の義臣のことか。人物名を考えて答えなさい。

問10 「義臣」が指す人物の名前を古文の中から抜き出して答えなさい。

問11 「この城に籠もり」の「この城」が指すものを古文の中から抜き出して答えなさい。

問12 「二堂開帳す」の「二堂」が差すものを古文の中から2つ抜き出して答えなさい。



問13 「散り失せて」と同じような様子表現するために使われている言葉を、古文から2つ、それぞれ3字以内で抜きだして答えなさい。

問14 「千歳の記念」の指すものを、古文の中から2字で抜き出して答えなさい。

問15 下線①～④を現代仮名遣いに直して答えなさい。

【①】

【②】

【③】

【④】

問16 下線ア～ケの、この古文での読みを全てひらがなで答えなさい。

ただし、歴史的仮名遣いが使われているものに関しては、現代仮名遣いに直して答えなさい。

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

【オ】

【カ】

【キ】

【ク】

【ケ】

問17 【1】の俳句の【季語】と【季節】、【切れ字】を答えなさい。

【季語】

【季節】

【切れ字】

問18 【2】の俳句の【季語】と【季節】、【切れ字】を答えなさい。

【季語】

【季節】

【切れ字】



問19 【3】の俳句の【季語】と【季節】、【切れ字】を答えなさい。

【季語】

【季節】

【切れ字】

問20 「降り残してや」の意味として正しい物を次の中から選び○で囲みましょう。

ア：降り残してくれ

イ：降り残した

ウ：振り残したので

エ：降り残したのだろうか

問21 「玉の扉風に破れ」と対句になっている部分を古文から抜きだして答えなさい。



## 「おくのほそ道」定期テスト対策練習問題（解答）②

問1 曾良

問2 【ア】 それにしても 【イ】 えりすぐって（慎重に選んで）

問3 エ

問4 エ

【解説】一里は約3.9km。一里ほども手前に平泉館の南大門（正面）があったということで、平泉館の規模が大きかったことを伝えようとしている。

問5 エ

問6 ウ

問7 杜甫

【解説】「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」は、杜甫の「春望」にある「国破れて山河あり、城春にして草木深し」を芭蕉が思い起こしたもの。

問8 功名一時の草むらとなる

問9 源義経（義経でも可）

問10 兼房



問 1 1 高館

【解説】 「高館」とは、源義経の居館の跡のこと。

問 1 2 ・経堂

・光堂 ※順不同

問 1 3 ・破れ

・朽ちて ※順不同

問 1 4 光堂

問 1 5 【①】 まず

【③】 きょうどう

【②】 じょう

【④】 そうせつ

問 1 6 【ア】 えぞ

【エ】 ひつぎ

【キ】 いらか

【イ】 つわもの

【オ】 こがね

【ク】 かたみ

【ウ】 しらが

【カ】 たいはい

【ケ】 さみだれ

問 1 7 【季語】 夏草

【季節】 夏

【切れ字】 や

問 1 8 【季語】 卯の花

【季節】 夏

【切れ字】 かな

問 1 9 【季語】 五月雨

【季節】 夏

【切れ字】 や

問 2 0 エ

問 2 1 金の柱霜雪に朽ちて

